

目次

行政特集

1	グラビア	除雪機械展示・実演会 ゆきみらい 2004 in 米沢
7	巻頭言	「国の光」と「モノ」づくり……………藤本 貴也
8		平成 16 年度国土交通省関係予算……………国土交通省総合政策局建設施工企画課
11		公共事業コスト構造改革の推進について……………元永 秀
15		港湾整備事業におけるコスト構造改革の取組 —港湾施設のライフサイクルマネジメント確立に向けて—……………田中 創
20		農業農村整備事業におけるコスト構造改革の取組……………佐藤 隆・川俣 克也
25		ユニットプライス型積算方式について……………元永 秀
32		盛土の締固め情報化施工管理要領（案）について……………星隈 順一
36	ずいそう	「ご趣味は……」……………田中 康之
37	ずいそう	毎日自宅で同期会……………山本 茂樹
38		除雪機械展示・実演会・シンポジウム・研究発表会（米沢）見聞記 ゆきみらい 2004 in 米沢—上杉の城下町発 新・雪国の創造……………宮田 優
43	JCMA 報告	ISO/TC 127（土工機械）—ソレント国際会議報告……………標準部会
53	CMI 報告	建設技術審査証明事業（建設機械化技術）について……………伊藤 文夫
56	新工法紹介……………	広報部会
59	新機種紹介……………	広報部会
64	統 計……………	広報部会
66	お知らせ	
73	行事一覧（2004年2月）	
76	編集後記……………	（星隈・西園・小幡・伊藤）

◇表紙写真説明◇

幅員可変型小型除雪車

◇開発目的

交通バリアフリー法（平成 12 年 5 月）が、制定されたことにより、歩道の広幅員化、サービスレベルの向上が求められています。

しかし、現状は同一工区内でも広い歩道と狭い歩道が混在しているため、効率的な歩道除雪が難しい状況にあります。また、近年サービスレベルの向上により、除雪費が増加している傾向にあります。

そこで、除雪幅員を可変することにより、効率的な歩道除雪を行う小形除雪車を開発しました。

◇ ブレード格納時

通常の 1.3 m 級小形除雪車と同様、除雪幅 1.3 m で作業を行います。



◇ ブレード拡幅時

広い歩道では、ブレードを張り出すことにより、最大 2.0 m までの作業を行います。

また、少積雪時には、オーガを逆転し、シュートによる投雪を行わず、雪を両サイドに排雪することで高速除雪が可能です（ラッセル工法）。

